

昭和地域の空襲

飯塚 皎一

上高田二丁目

私は、戦争中、中野駅に勤めていましたが、そこで防空監視の担当をしていました。

昭和二〇年四月になると、空襲を受けるようになりました。

上高田上空に米軍の飛行機が飛来すると、高射砲が撃たれ、弾が上空で大きく裂していたことを覚えています。

四月十三日の空襲では、山手通りから早稲田通り周辺が焼けました。

五月二五日には、早稲田通り沿いが空襲を受けて、消防署東中野出張所向かいの、上高田一丁目二六番付近から上高田三丁目にかけて、また、東中野三丁目から中野六丁目にかけて焼けました。この時、現在の桃二小学校の裏の家が、焼夷弾の直撃を受けてまたたく間に全焼してしまいました。中野六丁目には爆弾も落ちましたし、家の前に落ちた焼夷弾で、中野六丁目のKさんが足に火傷を負うということもありました。

また、他日になりますが、電信隊（今の警察学校や区役所付近）の上空で、戦闘機がB29爆撃機に体当たりし、二つに裂け

て野方方面に落ちていったということもありました。

戦後もしばらくは、街の中に焼夷弾の焼け殻が転がっていました。山手通りの方に行ったとき、焼夷弾が束のまま転がっているのを見ました。